

謹賀新年 ～10年の振り返りと2025年問題～

特定医療法人共和会
理事長 山本 直彦

新年、明けましておめでとうございます。

2015年4月に理事長に就任し、今年3月でちょうど10年が経ちます。この10年を振り返ると、先ず第1に、共和会60周年記念事業として新病棟が完成されたことでもあります。就任当初からボトムアップ型の運営を心がけていましたので職員参加型の建築委員会を設置して、現場の声を聞き取りながら将来の病院のあり方を議論し、国の改定に適應できるようにフレキシブルな設計の下、関係者の皆さんのお陰で5年後の2020年に完成と相成りました。この間、建築費の関係から規模を縮小する案もありましたが、2020年に予定されていた東京オリンピック開催後に起きる建築資材や人件費の高騰が予想されたため、計画通り進めていきました。昨今では異常なまでの建築費の高騰により病院の増改築がままならない状況を見ると予定通り進めて良かったと思っています。また、病院前に広く駐車場が出来た事で巡回バスの乗り入れが可能となりました。

第2に、国の方針として精神科病院の病床削減が叫ばれる中で、当初から精神科領域における地域包括システムの構築が必須と考え、その手始めとして精神科訪問看護ステーションの開設を推し進めました。現在は5事業所にまで展開し、地域医療に大きな貢献をしてくれています。

第3は、何と言っても新型コロナウイルスの到来でした。凶らずも院長を兼任していましたが、感染拡大防止としての病棟閉鎖と病院経営との狭間で苦慮し、流行当初、入院患者さんの中でコロナの感染の疑いがみられた時は眠れない夜を明かした事を今でも忘れられません。一方で、感染蔓延時、身を挺して感染者のケアにあたり、感染対策に奮闘してくれた職員には心より敬意と感謝を致したいと思います。

さて、問題は今後の10年ですが、去年は診療報酬、介護報酬などの改定がなされ、団塊の世代が全て75歳以上となる2025年問題に向けた地域医療構想や医療計画とともに、働き方改革や人材不足が重なり、特に民間医療機関においては経営の危機とまで言われています。今後、さらに高齢化と人口減少が進み、2040年には65歳以上の人口が全体の約35%になると推計されており、雇用対策として最近では定年制を廃止したり、働ける高齢者を新規に採用する会社も増えてきています。今後はICTの活用やDXを屈指しながら、高齢化や人口減少に対する柔軟な雇用対策と既存概念にとらわれない医療経営が今後課せられた重要な課題と思われる。

引き続き、皆様方のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第25回 共和病院 地域医療フォーラムを開催して

2024年11月19日（土）に共和病院地域医療フォーラムを開催しました。このフォーラムは『地域の保健・福祉・医療関係者の交流及び情報交換の場を作りたい』という想いで1998年から始まり、今年で25回目を迎えました。当院では以前より多職種によるリハビリ活動に力を入れており、今年度は「リハビリと表現活動」をテーマに、当院の取り組みについてお伝えすることとなりました。

第1部では、横浜市立大学医学部看護学科精神看護学講師 藤澤希美様をお迎えし「リハビリと表現活動」について、リハビリの成り立ちや看護師としての臨床経験をお話いただきました。第2部では「リハビリと表現活動」について院内の方

に実際の取り組みについて発表していただきました。

発表の中で当事者様のご厚意により写真や動画を使用させていただき、活動中のご様子、表情等がより伝わりやすかったのではないかと思います。また、フォーラム会場に作品を展示したことにより、実際に目で作品に触れることができ充実したフォーラムになったかと思えます。

最後に共和病院地域医療フォーラムにご参加いただいた方、開催にご尽力いただいたすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

地域医療フォーラム実行委員長
中村 裕介



第2部 パネルディスカッションの様子



藤澤 希美 様



阪野 圭亮 様



林 正実 様



平澤 町子 様



丹羽 俊樹



古橋 雅美



プログラム

第1部 講演 「リハビリと表現活動」

講師 藤澤希美 様（横浜市立大学医学部看護学科精神看護学 講師）

第2部 「実践報告/パネルディスカッション」

パネリスト 阪野圭亮 様（大府市 福祉部 高齢障がい支援課 障がい福祉係 係長）

林 正実 様（大府市産業振興アドバイザー/プロジェクト・ヴィーノ 代表）

平澤町子 様（デイケアセンターフリージア 利用者）

丹羽俊樹（共和病院 看護師）、古橋雅美（共和病院 作業療法士）

座長 濱田久美子（共和病院 看護部 次長）



たくさんの作品を展示させていただきました

あつまろう！

てんてん祭り 2024

2024年10月20日 第13回 共和病院文化祭「てんてん祭り」を開催しました。

昨年7年ぶりに復活し大盛況でしたが、今回は初の日曜日開催とさせて頂きました。

前日の豪雨はどこへやら…当日は天候に恵まれ無事開催ができました。

日曜日開催にあたり想定していなかった苦労や不安もありましたが、昨年よりも来場者数は100名程増えていました！季節柄行事が多い中“お祭りをはじめて来たよ”、“土曜日は家庭の事情で参加できなかったが初めて参加できた”など、嬉しいお言葉を沢山頂きました。

模擬店の店舗数は増え、人気の店舗には長蛇の列ができていました。価格も安くお小遣いを握りしめたお子さん達も購入しやすく、お友達とゲーム等に参加されており、とても嬉しく感じました。

昨年度の反省を活かして食数を増やしましたが、それでも追いつかず早々に売り切れてしまった所もあり、引き続き来年の課題となりました。

イベントや飲食出店も多彩！

今回の飲食販売やイベントの出店は、関連施設、外部からも含め、24店舗となりました。

会場内では焼きそば、揚げパン、みたらし団子、大学芋、ジュースなどなど幅広い飲食店や、スーパーボールすくい、魚釣り、お菓子すくいなどゲームも企画され皆さん楽しまれていました。関連施設、外部からもラーメン、枝豆、クッキー、パンなどの飲食店や、小物販売、バザー、デイケアの宣伝、患者様のアート作品展示など多様な企画が並びました。

大人から子供まで多くの方々が共和病院に来院してくださり、笑顔で楽しんでくださる姿がとても印象深かったです。

また、今年は病院内にて「愛知こどもホスピスプロジェクトを応援する会・おおぶ」より、レモネードスタンドが出店されました。店舗のスタッフが外の会場

ステージは昨年よりも拡大し、地域のみなさまと患者様や職員が趣向を凝らしたステージを行なって頂き大盛況となりました。

退職した職員も遊びに来ており、共和会の良さが出ていたのではないかと思います。

みなさまのご協力があって、てんてん祭りは開催できています。本当にありがとうございました！

てんてん祭り実行委員長 津村 桃子



にて声かけをしている中、購入したお子さんも声をだして呼びかけていたり微笑ましい光景もあり、多くの方々がご協力をしてくださいました。

当日は本当に多くの方々がご参加くださいました。ありがとうございました。

てんてん祭り実行委員 イベント担当 榎崎 龍

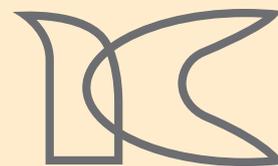


編集後記



新年明けましておめでとうございます。
昨今、物価高騰のニュースばかりなので、今年の誌面は、風水ラッキーカラーの中から「金運アップ」のラベンダーを選びました。今年はへび年。

ラベンダー色のお財布にへびの抜け殻を入れて、金運アップを願ってみてはいかがでしょうか。しかしながら、へびの抜け殻って一体どこにあるのでしょうか…
広報委員会 水谷



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした
最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 職員のチームワークと創造性が
高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が
感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



てんてん祭りのステージは、昨年と位置が変わりまた違った雰囲気での開催となりました！

オープニングを飾ったのは当院の会長や他病院の職員の方のバンド演奏です。

昨年もご参加下さった大府南中学校吹奏楽部の皆さんの演奏は昨年よりパワーアップしており、圧巻の演奏でした。クラウンチョコさんのバルーンショーは、一緒に踊ったり歌ったり子供たちに大人気でした。ドッグダンスは2匹のわんちゃんがこの日のために練習したトリックを披露してくれました。当院に入院されている患者様のピアノ演奏は、この日の為に半年間練習をして下さったとのことで、どこか余裕も見られる程の完成度でした。当院職員によるバンド演奏やブレイクダンスは、普段とは又違う一面を垣間見ることが出来ました。築地 VOW&JS によるゴスペルコーラスは、ステージに引き込まれる様な MC で会場が釘付けとなっているなかで、有名な曲からゴスペルの本場の曲を聴くことが出来ました。民舞研究「舞」の皆様の越中おわら節と三線の演奏は皆さんと円になって踊り、日本の伝統文化に触れることが出来ました。

最後は当院の職員とダンス仲間たちによるダンスバトル！手に汗握る大迫力のダンスで、観客の皆さんの視線を一身に集めていました。今回のステージも、たくさんの方にご協力を頂くことが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

てんてん祭り実行委員 ステージ担当 坂治 良樹



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・脳神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティー
共和病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞かせください。

おもいやり共和の
キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

3月1日(土) 第16回 共和会研究発表会を開催します。
詳細が決まりしだい当法人HP等でお知らせします。